

# 高活協通信(2026年1月号)

発行：一般社団法人 高齢者活躍支援協議会

<http://www.agenomics.org>

## ◆◆◆高活協ニュース◆◆◆

■明けましておめでとうございます。今年が皆さまにとりまして素晴らしい年となりますことを祈念申し上げます。高活協通信1月号をお届けいたします

■韓日シニアフォーラムに出席しました。

25年12月11日 私(村関)は、韓国のソウルのウェスティン・ソウル・パルナスホテルで開催された第一回韓日シニアフォーラムに参加しました。



登壇者全員でのガッツポーズ写真



発表風景

このフォーラムは、韓国でシニア向けの情報誌を出版している eToday 社主催で開催されたものですが、その目的は、今まで世界の高齢化率トップを走ってきた日本を 2040 年代には、韓国が追い越すという見通しの中、日本の今までの取組に学び、韓国自身のこれからの取組に活かそうとするものでした。

セッションは基調セッション、第 1 セッション、第 2 セッションの 3 セッションに分かれ、私は、第 2 セッションに登壇し、日本でのシニアの活躍を通じた幸せな老後の実現をサポートする(株)高齢社の取組を紹介しました。韓国には高齢社のようなシニアに特化した人材ビジネスの会社は今のところないようです。

それ以外の内容としては、AI を活用した認知症の早期診断、ウェアラブルロボットを利用した、シニアの運動能力サポートなど医療、DX に関わる内容が多く紹介され、韓国は、こうした分野で、世界のトップを切っていきたいという強い目的意識を感じました。

日本からは私の他にニッセイ基礎研究所の前田展弘上席研究員が、日本でのシニアビジネス全般について説明。その中で高齢社のことも先駆的な取組として取り上げていただきました。

また、板橋区で在宅医療を推進するチームブルー、「おうちにかえろう病院」の安井佑理事長が、在宅医療問題について、プレゼンを行いました。韓国と日本が共通するのは、自宅でなく、病院で亡くなる方が圧倒的に多いということだそうです。安井理事長の病院は、一度急性期向け病院に入院した患者を、家に帰せるようにケアすることを目指した活動をしており、この病院に来ると約 9 割の方が家に帰ることができるようになり、そして、昨年板橋区で在宅で亡くなった方の半分以上は自分の病院にいた方たちだと話されていました。

全般的に感じたのは、韓国側の「日本に学ぼう」という意識が、皆さん本当に高いということでした。韓国の国民健康保険公団統合支援政策開発センター長は、まだ 40 代と思われる女性で、日本の東洋大学で博士号を取った日本語ペラペラの方でしたが、「日本の取組を反面教師としても学ぶべき」というような発言もされていました。

基調セッションパネルディスカッションのモデレーターを務めたイ・ギイル氏は、現在はソウル市立大学都市保険大学院の院長をしていますが、元保険福祉部（日本の厚労省）の次官。終了後の会食の場所で会話をしましたが、日本のことを本当に良くご存じで、漫画の島耕作の話、松下幸之助を最も尊敬しているという話など、日本に関する知識が本当に豊富で驚かされました。

韓国を訪れたのは最初が 30 年以上前の 1990 年代、まだ、貧しさがそこそこに見られました。その後も数回訪れましたが、特に今回は、韓国の色々な取組のスピード感に驚きました。また、30 年前とは打って変わって、人々の生活ぶりが豊かになっていることも印象的でしたが、日本も韓国に追い越されてしまうのではないかという危機感も一方で感じました。

プレゼンの冒頭で、私は韓国と自分のつながりについて述べました。今から 40 年以上前ですが、私はアメリカのワシントン D,C にあるジョンズホプキンス大学の高等国際問題研究大学院というところに留学しましたが、その時、すぐに仲良くなったのが韓国の外交部（日本の外務省）から来ていた安（あん）さん、南（なん）さんという二人の留学生でした。年代が近かったこともあり、家族ぐるみのお付き合いをしましたが、お二人はその後順調に出世されて各国の大使になられました、特に南さんの方は、2019 年に駐日韓国大使として日本に赴任されました。大使館を訪問して旧交を温めました。また、2014 年には私の長男が韓国人女性と結婚して、韓日ハーフの孫もできました。

8 月に来日された韓国の李大統領は当時の石破首相との間で、日韓首脳会議を行いました。その中で、両国で共通して取り組むべきテーマとして、「少子高齢化・人口急減」問題が挙げられました。日本の過去の取組を様々なレベルで韓国と共有できれば、大変すばらしいことと思います。

#### ◆◆◆「高齢者就労関連サイト」紹介コーナー◆◆◆

■高齢労働者の労災防止対策の指針案を提示、シニアの特性に配慮した対応明記／厚労省検討会

25年10月の高活協通信でもご紹介しましたが、厚生労働省は、高齢者の労働災害防止を、今までの自主的な「エイジフレンドリーガイドライン」の提示から、26年4月からすべての事業者への努力義務化することで、法的な拘束力を有する対応へと格上げを目指しています。その関連で厚労省の有識者検討会は12月8日、高齢労働者の労働災害防止対策に必要な措置に関する指針案を提示しました。主な項目として以下のようなことが盛り込まれています。

## 第2 事業者が講ずべき措置として5項目

- 1 安全衛生管理体制の確立等 この中で、経営トップによる方針表明及び体制整備や、危険源の特定等のリスクアセスメントの実施
2. 職場環境の改善 この中では、身体機能の低下を補う設備・装置の導入や、高齢者の特性を考慮した作業管理を求める。
- 3 高齢者の健康や体力の状況の把握
- 4 高齢者の健康や体力の状況に応じた対応
- 5 安全衛生教育

私の勤める(株)高齢社のように派遣事業を営むところは、自社でこうした義務への対応を図るというよりも派遣先がそのような環境となっているかを確認する必要があることとなります。

■小泉副理事長から次のような日経BPのレポートをご紹介いただきました。以下日経BP広告より。

【日経BP 予測・分析レポート】 「シニア成長市場分析&事業創出戦略」  
7つの有望市場を提示、シニアマーケットで成功する事業開発メソッドを解説。

デジタルを活用する新たなシニア層の拡大により、新たなビジネスの機会、市場の拡大が見込まれます。実際、シニア向け商品・サービスを検討、強化する企業は増加の一途ですが、成功には、シニア特有のインサイトを理解して取り組む必要があります。

本レポートの著者は、会員約40万人が利用するシニア向けコミュニティーサイト「趣味人(しゅみーと)倶楽部」の運営やシニア向けビジネスのコンサルティングを手掛けるオースタンス(東京・渋谷)。これまで培った知見と独自のデータを基に、シニア向けビジネス開発のノウハウを解説しています。

マーケットの構造、関連データ、先駆事例を紹介し、攻略法を解説しています。シニア特有の思考、バイアス、他世代との違いを理解した上で実践する事業開発メソッドも提示。

◎「今、知っておくべき情報」を網羅！

★特長1:シニア層がターゲットとなる有望7市場

今後有望な市場を定義し、それぞれについて5つの切り口で解き明かす

★特長2:シニアビジネス開発メソッド

ヒット商品・サービス開発のノウハウを解説

★特長3:シニアビジネス先進7社のケーススタディー

サントリーウェルネス、日本ロレアルなどの事例を解説

★特長 4:シニアデータ集と「AgeTech」

統計・データを掲載、注目が高まる AgeTech についても解説

▼特別編集版(誌面サンプル)で、本レポートの一部をお読みいただけます！

[https://cmad.nikkeibp.co.jp/?4\\_\\_993164\\_\\_37920\\_\\_2](https://cmad.nikkeibp.co.jp/?4__993164__37920__2)

---

◎目次

第0章 シニアの定義と市場参入の意義

第1章 親子3世代消費市場

第2章 健食ウェルエイジング市場

第3章 アクティブ旅行シニア市場

第4章 ビューティーシニア市場

第5章 通販デジ活シニア市場

第6章 プチ贅沢シニア市場

第7章 ミドルシニア再活性化市場

第8章 「AgeTech」最前線

第9章 シニア向け事業開発フレームワーク

第10章 シニア向けマーケティングメソッド

第11章 企業事例編

第12章 シニアデータ集

全目次は Web でご覧いただけます。

[https://cmad.nikkeibp.co.jp/?4\\_\\_993164\\_\\_37920\\_\\_3](https://cmad.nikkeibp.co.jp/?4__993164__37920__3)

■高齢者雇用の総合誌『エルダー』のご紹介

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構(JEED)が発行する高齢者雇用の総合誌「エルダー」に関する情報は、下記の URL からご覧いただけます。

啓発誌「エルダー」 | 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 (jeed.go.jp)

<https://www.jeed.go.jp/elderly/data/elder/index.html>

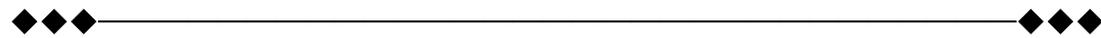
2026年1月号は新年号のため、本日までに高活協宛届きませんでした。今月のエルダー内容のご紹介はできませんので、悪しからずご了承ください。

◆◆◆高活協主催/共催イベントの紹介◆◆◆

■これまで高活協が主催した(共催含む)イベントの報告書/記録集

過去に高活協が主催・共催したイベント(シンポジウム、セミナー/フォーラム)の報告書や記録集は、高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ボタンをクリックしてご覧になれます。(ホームページは下記 URL)

<http://www.genomics.org/>



配信先メールアドレスの変更をご希望の方、また配信が不要な方は高齢者活躍支援協議会・事務局までご連絡ください。

本通信に対するご意見や感想をお聞かせください。

また、本通信に掲載してほしい情報等がありましたら、ぜひご連絡ください。

---

一般社団法人高齢者活躍支援協議会

〒101-0021 千代田区外神田 3-6-4 OSビル 5F (株)高齢社内 HP: <http://www.genomics.org>